

## 地域住民ならではの景観「水管橋」



加古川右岸地域からの通学にも利用されている水管橋は、1980(昭和55)年に完成した、直径1.2m、全長426mの、送水管2本を渡している工業用水送水管の橋です。



平荘湖や権現ダムの水を右岸の東神吉町から左岸の加古川町へ渡し、臨海部の工業地帯へ1日に約2万トン配水しています。

橋上は、自転車・歩行者専用の市道として役立っています。日常的な通行者には見慣れた風景でも、両側の眼下に大河川の流れを眺め、川風を受けながら通行できるのは、他地域の住民からすれば超レアな体験。



毎年8月に開催される「加古川まつり花火大会」では、水管橋付近から花火が打ち上げられるため、橋周辺の川岸は多数の観覧者で埋まりますが、普段は通行者もまばらで、橋の上から四季折々の加古川の風景が楽しめます。冬枯れの景色も趣がありますが、暖かくなったら自転車や徒歩で通行してみてもは？



※水管橋についての説明は、加古川観光協会HP参照